

第120回 理事会（平成19年度第6回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時： 平成19年12月10日（月）19：00～21：00
2. 場 所： 神奈川県社会福祉会館4階第3研修室（横浜市神奈川区沢渡4-2）
3. 出席理事：（副会長）野地 澄雄、八尾 勉
（専務理事）片 忠夫
（常務理事）菊地 富士夫、木村 徳善、上田 英之、三塚 康雄、
（理事）徳本 進、荻野 恭宏、金子 理人、清水 忠
百海 廷、小池 光、平沢 幸一、平賀 淳夫、森本 珠水
書面票決：（会長）河野 洋平
（副会長）山田 隆
（理事）川田 光代、藤田浩介、岡本 洋一、吉野 大成、吉岡去私
国島 みどり、斎藤 幸雄
4. 出席監事： 内海 雄三、木村 信吉
5. 議長選出： 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出： 百海 廷、吉岡 去私理事を選出
7. 書記： 江口 潤 広報委員を指名
8. 議 事

開 会 野地 澄雄副会長が開会の挨拶を述べた。

1) 競技本部関係

(1) 報告事項

菊地本部長より、下記の報告があり、了承された。

指定選手認定式 を11月17日に実施。指定選手の自覚喚起のため、ワッペンを作成し、配布した。

モデル事業は順調に進行している。トレーニング風景を次回理事会にて報告したい。

(2) 審議事項

ジュニア合宿開催場所変更について

菊地本部長より、安全上の理由により野辺山から尾瀬戸倉に変更したい旨の提案がなされ、承認された。

県総体の収支について

平賀理事から県総体の事業収支について、今年度総収入が約64万円で約40万円ほどの収入減の見込みであることが報告された。当初予定されていた「参加費」について、県教育委員会より「市町村から、参加費を徴収することは、他種目でも前例がなく、県教育委員会から依頼することは出来ない」と指摘され、徴収できないため。なお、「分担金」等の名目で市町村協会に働きかけるなど今後、連盟内で継続検討することの提案がなされ、承認された。

(3) その他

菊地本部長より、「J1行事における選手の事故に関して、専門委員の中から、一専門委員の責任を追及するような言動があり、事業中の事故の責任を一専門委員に負わせることがない様、連盟全体で危機管理体制を充実させることが必要ではないかとの意見があった。片専務理事より、

派遣、推薦それぞれにおける責任問題は法的な事項であり、専門家の判断・指示をあおぎたい。
尚、派遣は理事会承認、推薦は理事会報告されている。弁護士の意見では推薦は個人責任となる
そうだ。この問題は総務で検討していただく。

2) 教育本部関係 (配布資料:「第120回理事会(平成19年度6回) 教育本部」)

(1) 報告事項

木村本部長より、下記報告があり、了承された。

指導者養成講習会(理論第2回)

期日:2007年11月17日(土)10:00~16:30 場所:市従会館

参加者118名 今年度受験者内訳(準指 128名 正指 45名 A検 3名)

南関東ブロック研修会(理論)

期日:2007年11月17日(土) 18:00~21:30 場所:中野“O”ホール

参加者56名 役員-山田副会長、片専務、上田本部長、木村本部長

スノーボード指導者研修会(理論)

期日:2007年11月23日(金) 12:00~17:00 場所:社会福祉会館

参加者-10名 役員-木村本部長、小池理事、金子SB委員長、根本SB小委員長

教育部会

期日:2007年11月26日(月)19:00~22:30 場所:県連事務所

参加:木村本部長、清水理事、岡本理事、百海理事、森本理事、小池理事

南関東ブロック研修会(スキー・スノーボード)

期日:2007年11月30日(金)~12月2日(日) 場所:長野県車山高原スキー場

参加者:61名 役員:山田副会長、上田本部長、木村本部長

全日本スノーボード技術員研修会

期日:2007年12月5日(水)~6日(木) 場所:軽井沢プリンススキー場

参加者-小池理事、金子SB委員長、岩森SB強化委員長

全国パトロール技術員研修会

期日:2007年12月7日(金)~9日(日) 場所:草津温泉スキー場

参加者-和田安全対策委員長、戸嶋安全対策副委員長

その他

イ) 今月の予定

・北海道行事 12月11日~16日

・車山 行事 12月22日~23日

・スキー強化行事 12月22日~24日

ロ) 1月の予定

S A K 野辺山行事 1月5日~6日、

千葉・神奈川技術選1月19日~21日(車山)

五竜 行事1月25日~27日

S A J スキー大学 1月11日~14日、1月17日~20日、

スノーボード指導員検定会 1月20日~22日

生涯スポーツ指導者講習会 1月17日~20日 1月24日~27日、

公認パトロール研修会 1月26日~27日

(2) 審議事項

デモ講師派遣について

木村本部長より、下記提案がなされ、承認された。

北海道行事 [スキー]:総務本部にて把握(吉野理事)

[スノーボード]:福島美穂デモ

車山行事 [スノーボード]: 平間和徳デモ

五竜 行事 [スキー]: 検討中

[スノーボード]: 平間和徳デモ、他1名

全日本スキー技術選手権大会選考選手における推薦枠について

清水理事より、全日本スキー技術選手権大会選考選手における推薦枠について次の提案がなされた。競技本部と教育本部のコラボレーションについて、以前は大会日程が重なることが多く、相互の乗り入れは大変困難であるとの認識が強かった。しかし、県連から強い選手を選考し、派遣することは両本部で目標は共有できる。今後のコラボレーションに向け、教育本部から競技本部の戦績による推薦条件を以下の7項目抽出した。技術戦の大会要綱にも掲載する予定である。

- 1 現ナショナルチーム所属
- 2 前年度全日本選手権決勝進出以上
- 3 SAJ10 ポイント以内
- 4 前年度ナショナルチーム所属
- 5 国体、全日本で入賞以上
- 6 SAJ ポイント 50 以内
- 7 前年度県内大会で上位

尚、この枠は全体の3割程度、具体的には男子8(3) 女子5(2)

今回は、文書での提示が無いため次回以降の理事会で再度検討することになった。

菊地本部長、平賀理事より大変良いことであるが、国体年齢制限ABCの件や、FISポイントの採用、競技選手の志向などいくつかの課題があるとの意見が出された。

3) 総務本部関係 (配布資料;「第120回理事会(平成19年度6回) 総務本部」)

(1) 報告事項

慶弔関係 (徳本事務局長)

11月15日 弔電 福島県 侍井寛フリースタイル部長

12月18日 お祝い 丸山庄司氏叙勲祝賀会出席 山田副会長

資金運用状況 (徳本事務局長)

11月末現預金残高は、昨年同時期より百万円減の54、557、263円の報告があり、了承された。

登録状況 (荻野理事)

19年度の登録手続き状況 昨年に比べ、登録会員数が減少している。登録に関して会員証発行が遅延している状況で、会員よりSAJへ苦情を申し出た会員がいたことが報告された。次年度に向け、登録受付締切日の変更も検討課題との報告があり、了承された。

各種委員会

次の各理事から報告があり、了承された。

イ) 電子申込委員会 特になし

ロ) 普及振興委員会 (徳本事務局長)

12月末までに厚木関係でパンフレット配布予定

ハ) 協賛会員拡大委員会 特になし

ニ) 個人情報保護委員会 特になし

ホ) HC委員会 (徳本事務局長)

11月30日に第5回委員会開催。3月車山でのスキー教室のパンフレット作成。発送は、12月11日実施予定。

11月30日 Para-Life取材があり、国島理事と越前谷専門委員が対応。

ヘ) 広報委員会 特になし

ト) 北海道委員会 (徳本事務局長)

神奈川県からの参加者276名、千葉県から19名 講師36名、合計331名が参加する。

チ)財務委員会 特になし

その他

徳本事務局長から次の報告があり、了承された。

イ)「I l o v e S n o w」ステッカー 北海道行事に300枚(価格300円)販売予定

ロ)各事業役員出席表(別紙参照)

ハ)大会保険対応済み

二)先週教育本部理事より、事務所への現金持ち込みがあり、事前に振込み等に対応するルールになっているので、以降はそうに対応して頂きたい旨確認された。

(2) 審議事項

研修会免除願いについて (配布資料参照)

荻野理事より、研修会免除願い(11件)について提案がなされ、承認された。

県備品トランシーバーバッテリー購入について

上田本部長より、県備品トランシーバー(14台)について、バッテリー交換見積りを実施したところ16万円。レンタル(サンテレコム)への移行も踏まえ、総務一任、検討してもらう旨の提案がなされ、承認された。

閉 会 八尾副会長が閉会の挨拶を述べた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記により署名する。

平成19年12月25日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印